

令和元年度 自己評価結果公表シート

認定こども園 ひろせ幼稚園

1、評価項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
保育者としての資質や能力・良識・適性	・ 共通理解をすべき内容は会議で取り上げ、記録を残した。各自が責任を持って仕事に取り組めるように意見を出し合い、不明点がある場合には内容の確認をしあった。
地域の自然や社会とのかかわり	・ 園での取り組み内容を保護者にも理解してもらいやすくするためにねらいがわかりやすく伝わる工夫をした。具体的には配布物の内容構成や会の冒頭の挨拶の際にねらいを言うなどの配慮をした。
保育の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	・ 学年毎、役職毎に会議を行うことで、問題点の情報共有をしながら解決へ向かうように、状況の確認をしながら研修を受ける様子が窺えた。
地域における子育て支援	・ 園へ来た方が過ごしやすいうように職員側から声をかけるように努めた。子育て支援の日だけでなくいつでも訪れやすい状況を保ように配慮した。

2、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<< 今年度の重点目標 >>

- 安心して自分を出し、好きな遊びや友達との遊びを楽しむ。
- ◆開かれた幼稚園づくりを目指し、保護者との連携を図る。
- 幼児の姿を見取り、確かな成長を支える教師の資質向上。

●子どもたちが安心して過ごせる環境にするために、まずは職員の働きやすい環境を整えることとした。それによって職員が子どもに関わる時間が増えた。子どもたちの興味関心を大切に、保育者が子どもの好きな遊びができるように環境設定を行うようにした。

◆開かれた園にするために、保護者のニーズを知るためにアンケートを行った。その際に、園からの発信の仕方が悪いことがわかり、保護者に教育・保育のねらいを知ってもらおう工夫をした。年度途中から行ったことだが、年度末のアンケートでは少しずつ理解をしてもらえるようになったようだ。もう少し工夫をする必要があるとは感じるので、来年度も引き続き目標にしていきたい。

■ねらいを明確に保育・教育をすることで職員がすべき仕事は何かを理解しやすくなったため、会議等の話し合いの時間が短時間で済むようになった。子どもそれぞれの成長を丁寧に見ることができるようになったため、子どもが何をしたいのかなどがよくわかるようになった。それに伴い、職員には必要な課題がそれぞれ見えてきたようで、自主的に研修に参加するようになった。

3、これから改善したいこと

評価項目	具体的な取組状況
保育の在り方・幼児への対応	・ねらいを明確にして保育をする事を今まで以上に大切にしてきた。それにより子どもの成長を段階的に丁寧に見守ることができた。来年度は、子どもたちがどのように学びたいのかを話し合ってもらい保育を展開し、子どもも職員もより意欲的に活動できる環境を整えたい。
保護者への対応・守秘義務	・相談を受けたときには丁寧に聞き取りをする。人ように応じて記録を取る。来年度は保護者とより連携を図り、子どもの成長のために専門機関とも連携をしていきたい。
保育の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	・役職毎で週1回の会議を行うことで現状に適した保育を展開している。次年度は現状に必要なと感じた研修の受講をしたり専門機関への相談等も利用することで、全職員の視野を広げて物事をとらえるようにしていきたい。
保育の在り方・3歳未満児への対応	・安心して活動できる環境を整えた。幼児が主体的に自らの身の回りのことが行えるようになった。反面、他学年との関わりが少なかったせいか、違った環境に適応することが難しい子がいた。次年度は早い段階から交流を持ちたい。